

ケアスロープ[®] JC

スロープパーツB (CS-JC)

取 扱 説 明 書

この度は、スロープパーツ B (CS-JC) をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

本製品を正しくご利用いただくために、ご使用になる前に本説明書を必ずお読みください。

※「取扱説明書」は大切に保管して下さい。



使用上の注意事項

ご使用いただく前に必ずお読みください。

警告マーク	警告マークの意味	
 禁 止	禁 止	禁止の行為であることをあらわします。
 警 告	警 告	この表示は、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注 意	注 意	この表示は、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

保管上の注意事項

 禁 止	● スロープパーツB（CS-JC）を立て掛けて保管しないでください。 ● スロープパーツB（CS-JC）を重ねて保管しないでください。倒れたり、破損の恐れがあります。
 警 告	● 必ず平坦な場所を選び、四脚が地面に接するように保管してください。 ● 定期的に製品の状態を点検し、変形や損傷などの異常があれば、直ちに使用を中止し、修理・交換などの適切な処置をしてください。

設置上の注意事項

 警 告	● スロープパーツB（CS-JC）を設置する際には事前に設置面の状態を確認してください。《砂、雪、氷など》滑りやすい場所や不安定な場所への設置はしないでください。設置場所が土や芝生、砂利などの場合は硬い板材やコンクリート板などを敷いた上にスロープパーツB（CS-JC）の脚を設置してください。 ● 暗い場所での使用はしないでください。 ● ケアスロープを設置する際、ケアスロープの上端部がしっかりとスロープパーツB（CS-JC）のスロープ受けにかかっていることを確認してください。 ● フラップを設置する際、フラップの間口側部分は必ずアルミサッシレールを超えて室内床に設置してください。フラップのスロープパーツB側部分は必ずフレームのスロープ受けと天板の間に差し込むように設置してください。
--	--

介助者の注意事項

 警 告	● 介助者の履物 スロープを歩行する際には、滑りにくく安定した履物を使用してください。（禁止の履物：ピンヒール、ハイヒール、ゲタなど） ● ケアスロープJCを上る時 スロープに車いすを前輪からゆっくりとまっすぐに進入させ、スロープがずれないように周囲を確認しながら上ってください。 曲がりながら進入すると、脱輪しやすくなり、転倒の事故につながります。 ● ケアスロープJCを下る時 必ず介助者が後ろ向きになり、車いすを支える様にしてゆっくりとまっすぐに進入し、スロープがずれないように周囲を確認しながら下りてください。 ● 介助者の車いすを支える位置 車いすを支えやすくするため、必ず車いすより下端側の位置で支えてください。
--	---

使用上の注意事項

 禁 止	● スロープパーツB（CS-JC）に設置するスロープについて ケアスロープ：CS-150，CS-175，CS-200，CS-240C，CS-285C 上記以外のスロープを使用しないでください。 ● スロープパーツB（CS-JC）のアジャスターで高さ調整する際、 スロープ受けが最大高さ500mm以上でのご使用はしないでください。 アジャスターを伸ばしきった状態で使用すると、アジャスターがフレーム部 から外れる可能性があります。 ● 安全にご使用いただくために、落下防止柵は必ず取り付けてください。 ● 天板に物を落としたり、衝撃を与えないでください。破損の恐れがあります。
 警 告	● スロープパーツB（CS-JC）及びスロープパーツA（ケアスロープ）を使用される際には、 必ず介助者が付き添ってください。操縦ミスや思わぬトラブルを防ぐことができます。 ● 改造したものについては、責任を負いかねます。 安全にお使いいただくため、使用する前に必ず各部を点検して使用してください。 万一破損や異常を発見した際、及び設置部やすべり止めの摩耗などの異常がある時は、 使用を中止し、販売店へ連絡してください。 （詳しくは、点検シート（7ページ）をご参照ください） ● この製品は手動車いす、電動車いす（ハンドル形電動車いすは除く）専用の段差解消 スロープです。手動車いす、電動車いす（ハンドル形電動車いすは除く）の移動目的 以外には使用しないでください。 例えば、台車での荷物の運搬などには使用しないでください。 ● 最大耐荷重は、300kgです。総重量が300kgを超える場合は使用しないでください。 走行が不安定になったり、スロープが破損し転落する可能性があります。 ● 進入時にスロープパーツB（CS-JC）及びスロープがずれないことを確認してください。 ● スロープパーツB（CS-JC）及びスロープには、ゆっくりとまっすぐに進入してください。 ● スロープパーツB（CS-JC）及びスロープ上で急停止しないでください。 ● スロープパーツB（CS-JC）及びスロープ上で飛び跳ねたり、物を落としたり衝撃を 与えないでください。 ● スロープの表面にすべり止め加工を施しています。 表裏を確認の上、広げて使用してください。 ● スロープの上端側がスロープ受けにかかっていること、 設置後にズレ、ガタツキがないことを確認してください。 ● 走行面や接地面に砂、雪等の付着がある場合は、 使用する前に取り除いてから使用してください。 ● 砂や雪などがある滑りやすい場所では、使用しないでください。 スロープパーツB（CS-JC）を設置する場所がぬかるみやすい環境（土・芝生・砂利など） の場合には、使用前（特に雨・降雪後）に必ず点検を行い安全な状態で使用してください。 ● 道路（車道・歩道）に、はみ出さないように使用してください。 道路にはみ出して使用すると、歩行者、自転車、自動車などとの思わぬ接触事故が 発生する可能性があります。 ● 製品を持ち運ぶ時は、必ず両手でお持ちください。 また、足元に落とさないように気を付けてください。 ● スロープパーツB（CS-JC）に取り付けたスロープの傾斜角度が急になると危険です。 適用段差目安表（4ページ）を参考にし、使用状況に合わせてスロープの長さを選定し、 アジャスターでスロープパーツB（CS-JC）の高さを調整してください。 ● この製品はケアスロープ専用のスロープパーツB（CS-JC）です。 他のスロープを使用しないでください。
 注 意	● スロープパーツB（CS-JC）を運搬するときは、人や物に接触しないように前後左右を 確認しながら運んでください。 ● スロープパーツB（CS-JC）及びスロープの設置や折りたたみの際、指などを挟まない よう注意してください。 ● 金属部分（フレーム、フラップ、落下防止柵）は、直射日光により熱くなることがあります。

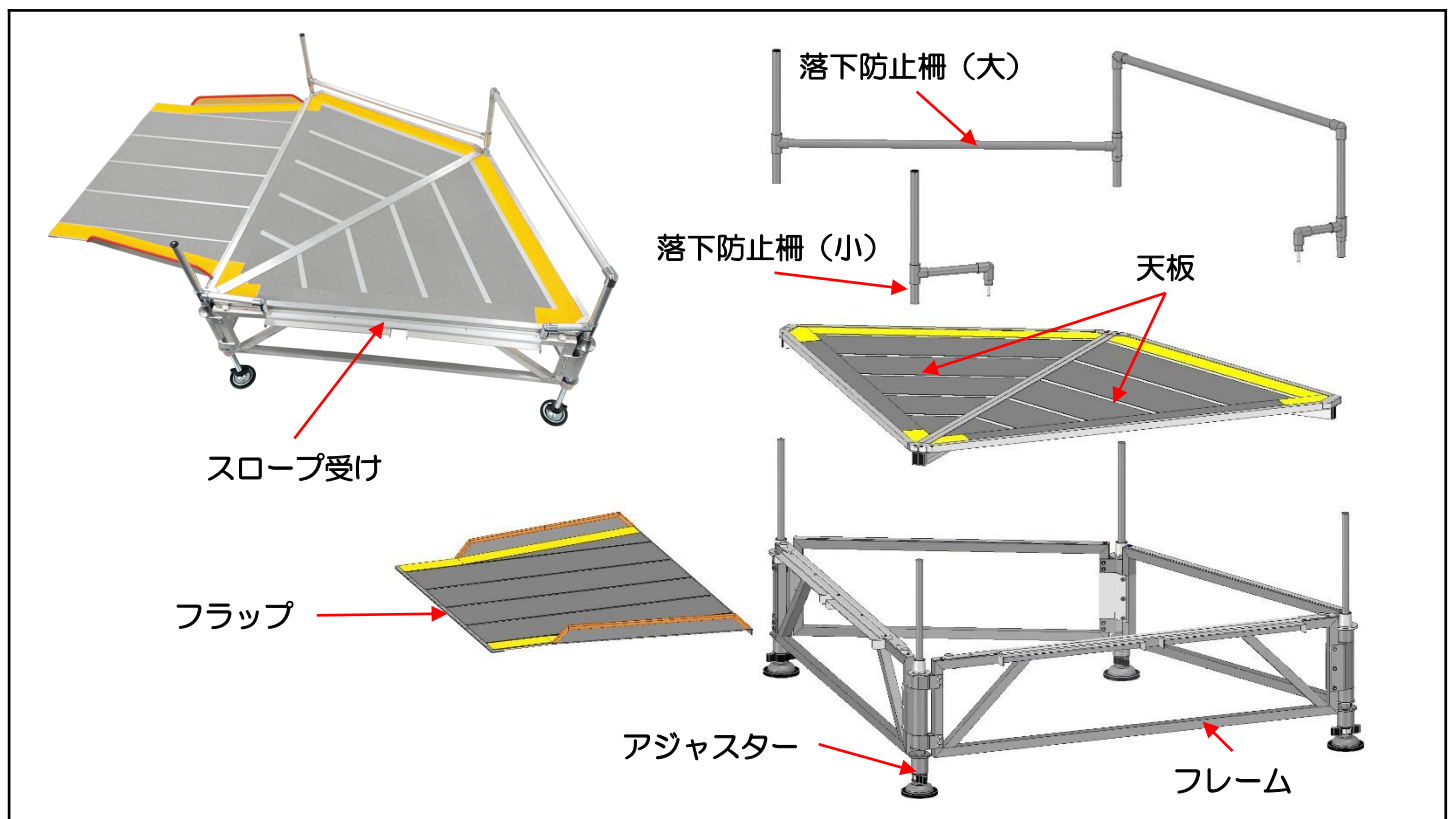
ケアスロープJC 適応段差・設置目安表

ケアスロープJC	スロープパーツA	スロープパーツB	TAISコード	適応段差	
				高さ	傾斜角度
CSJC-150	C S-150	CS-JC	00093-000054	30cm	12°
CSJC-175	C S-175		00093-000055	30cm	10°
CSJC-200	C S-200		00093-000056	35cm	10°
CSJC-240	C S-240C		00093-000057	40cm	10°
CSJC-285	C S-285C		00093-000058	50cm	10°

スロープパーツB（CS-JC） 製品仕様

製品名	スロープパーツB
品番	CS-JC
重量	約22kg
耐荷重	300kg
サイズ	幅 107cm × 長さ 107cm × 高さ（落下防止柵含54cm～74cm）
材質	アルミ・スチール・ステンレス・樹脂・ゴム

スロープパーツB（CS-JC） 部位名称

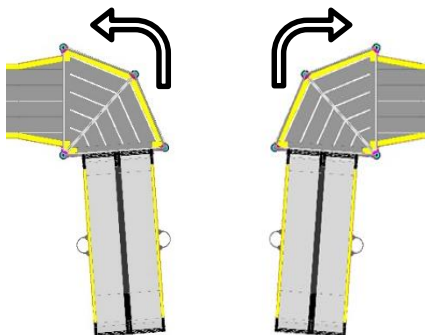


設置方法 1

1. スロープを設置する場所の確認を行います。
(砂、雪、氷がない事)
フレームを設置場所まで運びます。



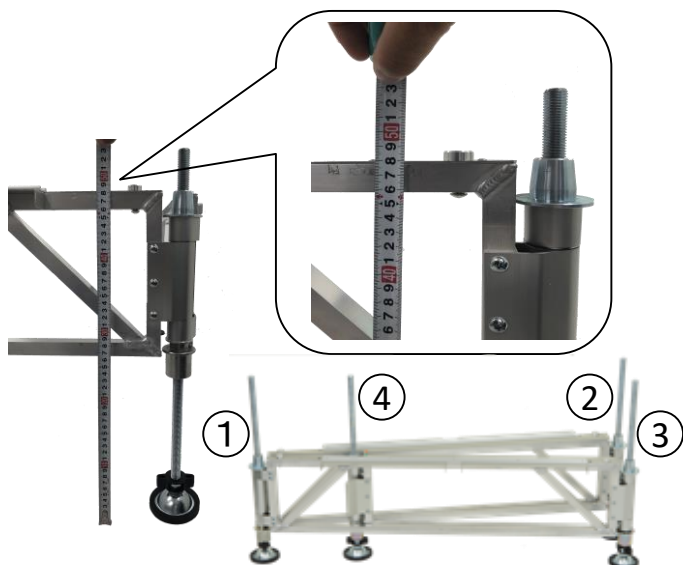
2. 設置の向きを決めます。CS-JCは
フラップとスロープを付け替える
ことにより、乗り入れ方向を左右
どちらにも対応できます。下記の
図を参考にしてください。



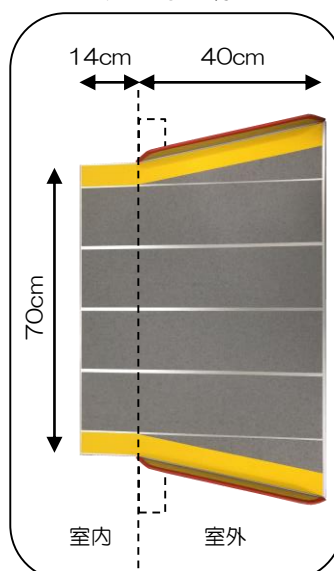
3. 設置面から室内床の
高さを測ります。



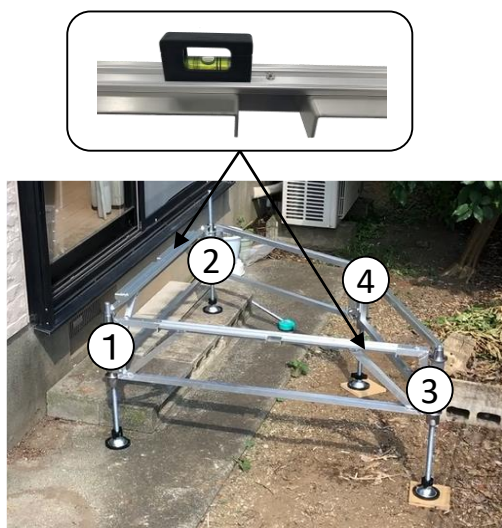
4. フレームのスロープ受けが室内床と同じ高さになる様
アジャスター①、②、③の高さを調整します。
最大高さ500mm以上にならない様に調整してください。



5. フレームとフラップを設置する床までの距離を
メジャーで測り、床からフレームの間隔40cm
以内になる様にしてください。



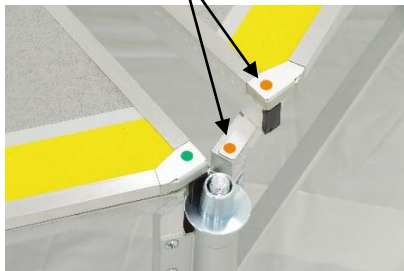
6. フレームを広げて、アジャスター④の高さを調整します。アジャスター①と②の間のフレーム、アジャスター①と③の間のフレームの水平を取ります。最大高さ500mm以上にならない様に調整してください。アジャスター固定用ナット(4ヶ所)を手で回して締めます。設置する地面が土・芝生・砂利などの場合は、アジャスターの下に硬い板材等を敷いてください。



設置方法 2

7.天板2枚をセットします。天板とフレームにはグリーンとオレンジのシールが貼ってあります。同じ色のシールの箇所を合わせます。

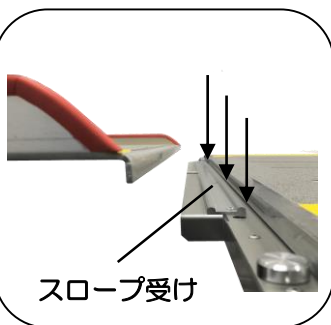
※同じ色のシールの箇所を合わせます。



8.落下防止柵（小）と（大）両方をセットします。落下防止柵（大）は低い方の柵が間口側になる様にセットします。



9.窓開口幅は70cm以上必要です。フラップの先端は室内床に14cmかかる様に設置します。フラップをスロープ受けと天板の間に差し込みます。



10.ケアスロープをフレームのスロープ受けにしっかりかけてください。



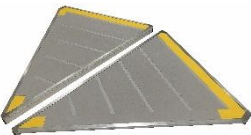
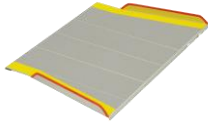
11.設置後、スロープに乗って安全を確かめてください。



点検について

- ・使用前に点検シートの項目を確認してください。
- ・スロープパーツB（CS-JC）の破損や摩耗などの異常を発見したときは、使用を中止し、お求めいただいた販売店にご連絡ください。
- ・分解や改造はしないでください。事故の原因となります。
- ・サビ防止の為、定期的にアジャスター部、アジャスター受け部に油等をさしてください。（メンテナンス後と、貸し出し前を推奨）

点検シート

点検項目	部品写真	点検の基準	チェック欄
外 観		・泥汚れがないこと。 ・油汚れがないこと。	
フレーム		・変形、破損がないこと。	
天 板		・変形、破損がないこと。 ・すべり止めシート剥がれ、表面の汚れ、摩耗がないこと。	
フラップ		・変形、破損がないこと。 ・すべり止めシート剥がれ、表面の汚れ、摩耗がないこと。 ・エジモール変形、破損、剥がれがないこと。	
落下防止柵(大)		・変形、破損、ゆがみがないこと。 ・ビスの緩みがないこと。	
落下防止柵(小)		・変形、破損、ゆがみがないこと。 ・ビスの緩みがないこと。	
アジャスター		・変形、破損がないこと。 ※メンテナンス後、貸出し前に油等をさしてください。	
スロープ受けアルミレール		・変形、破損、ゆがみがないこと。 ・ビスの緩みがないこと。	
アジャスター用ゴムリング		・変形、破損がないこと。	

保証書

この製品は、厳密な品質管理及び検査を受けて、お届けしたものです。
お客様が取扱説明書・本体添付シールなどの注意書きに従った使用条件で保証期間内に万一故障した場合には、
本保証書記載内容により無料修理いたします。
保証の有効期限は、お買い上げ日より1年間です。

- 修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。修理に関しては、本保証書をご提示、もしくは添えてください。
- ご贈答、ご移転でお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合は、当社までご相談ください。
- 本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 保証期間内でも下記の場合は、有料修理となります。
 - 保証書のご提示がない場合。
 - 本保証書のお買い上げ日、販売店の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - 使用上の誤り、あるいは分解、改造による故障または損傷。
 - お買い上げ後の落下や衝撃、その他の不適切な取扱による故障または損傷。
 - 火災、地震、塩害、風水害、落雷、その他の天災地変による故障または損傷。
- 本保証は、日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
- 保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。
- 保証書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。従って、本保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

個人情報の取扱いについて

- 保証書にご記入いただいた住所・氏名などの個人情報は、保証期間のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用します。
なお、本書にて、お預かりするお客様の個人情報をお客様の同意を得ることなく、第三者に提供または開示いたしません。
- 修理のために、当社から委託している保守会社などに必要なお客様の個人情報を開示する場合、守秘義務契約を結び当社と同等の水準で、お客様の個人情報を取り扱うように管理いたします。

◆ご購入日	西暦記入 年 月 日
◆保証期間	ご購入日から 1年間
◆ご購入者	ご住所（〒 — ） ご芳名 TEL — —
◆販売店	

◆印欄に記入がない場合保証書は有効となりませんので、必ず記入の有無をご確認ください。
もし、記入がない場合は直ちにお買い上げの販売店にお申し出ください。
※製品改良のため、仕様、外観は予告無しに変更する場合がありますので、ご了承ください。

ケアメディックス株式会社

東京都文京区湯島3-23-1 SKビル2F
TEL : 03-3837-0551 FAX : 03-3837-0554
<http://www.caremed.co.jp>